



2010年11月5日

生物多様性交流フェアに出展しました！



COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)にあわせて開催された、生物多様性をテーマとする国際的な展示会『生物多様性交流フェア』へ、10月23日～29日の7日間、当行もブースを出展しました。

国内外の208団体が、生物多様性に関するプロジェクトやアイデアなどの情報を発信・交流。総来場者数は、118,600名にものぼりました。当行ブースへは、連日多くの方にご来場いただき、“びわ湖を取り巻く環境”や“当行ならではの生物多様性の取り組み”について、積極的な意見交換を行いました。



パネルや「ニゴロブナ・ワタカの展示」に興味を持ってブースを訪れられる方が多く、「お金の流れで地球環境を守る」というテーマに関心を持たれました。

なお23日には、滋賀経済同友会が、湖国での生物多様性保全の取り組みを報告するフォーラムを同時に開催。

代表幹事である大道頭取の基調講演では、地域の特性を考慮した、生物多様性保全の幅広い取り組み事例を発信され、立ち見が出るほどの反響でした。

